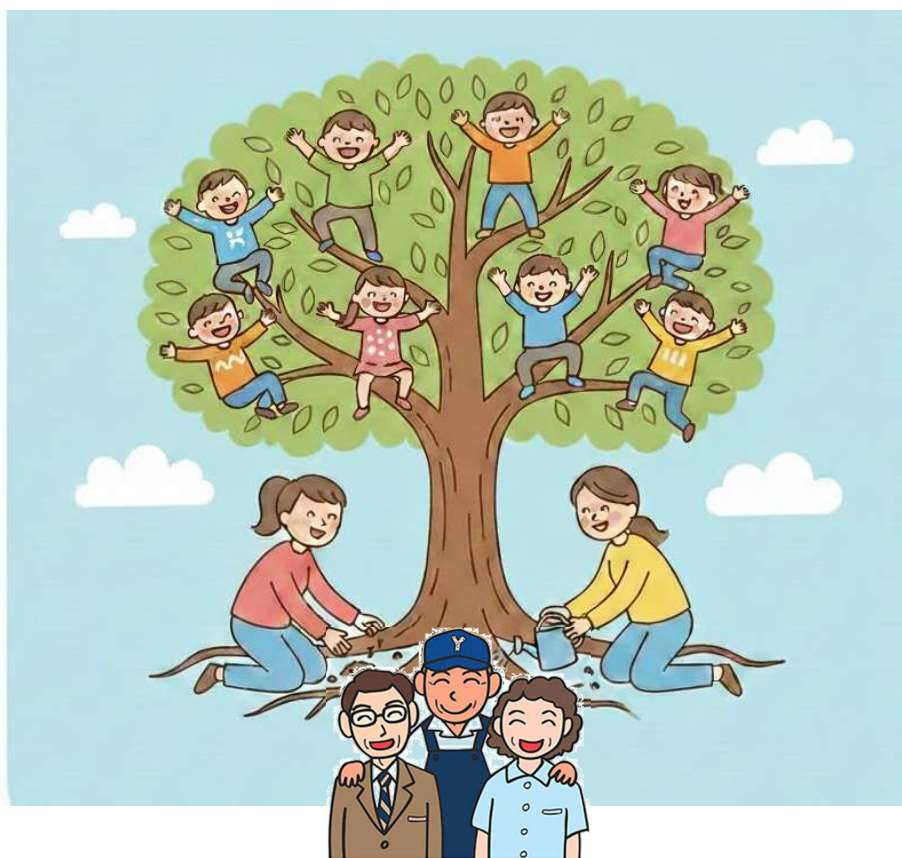


『大人が変われば 子どもも変わる』県民運動

推 進 要 綱



優しさあふれる笑顔を子どもたちに！

公益社団法人 宮崎県青少年育成県民会議

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動推進要綱

1 趣 旨

子どもたちは次代を担う社会の宝です。子どもたちが、多くの温かい人に支えられながら、豊かな心や社会性、個性や創造性を育み、夢を持って成長することが私たち県民の願いです。

しかし、深刻化する青少年問題の背景の一つとして、規範意識に乏しい大人社会の風潮が指摘されています。

そのような大人自身の姿勢や大人社会の在り方を省みるきっかけとなるよう「大人が変われば子どもも変わる」県民運動を推進し、青少年の心を育てる大人の輪を広げていきたいと考えています。

2 主 唱 公益社団法人宮崎県青少年育成県民会議

3 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の取組

(1) まず、大人自身が変わりましょう。

青少年が健やかに育つには、親や大人の役割や責任が大きいことを広く認識し、すべての大人が「まず自分自身が変わらなければ」と気づき、子どもたちの手本になるように心がけましょう。

【具体的な行動（例示）】

① 自分自身の言動を省みて、大人としてのかっこよさを子どもに見せましょう。

- ア 大人同士、子どもたちへ明るいあいさつをしましょう。
- イ 相手の立場をふまえた丁寧な言葉遣いを心がけましょう。
- ウ 家族や地域等にとってよいことを率先して実行しましょう。

② 社会のルールを守り、子どもたちにお手本を見せましょう。

- ア 公共施設（体育館・公民館・プール等）の“利用のきまり”を守りましょう。
- イ 交通ルール（歩行者、自転車、自動車）を守りましょう。
- ウ 公共交通機関（電車、バス等）の利用のマナーを守りましょう。

(2) 「地域の世話やきさん」になりましょう。

「地域の子どもは、地域で守り、はぐくむ」を合い言葉に、大人が子どもたち一人一人を温かく見守りながら、大人みんなで活動し、地域の連帯感と教育力を高めましょう。

【具体的な行動（例示）】

① 子どもたちに温かい声をかけましょう。

- ア 「行ってらっしゃい」「おかえり」などの声をかけ、顔見知りになりましょう。
- イ 「善い行い」を見かけたら、心から褒めてあげましょう。
(学校や家庭にも連絡すると2倍の褒め言葉になるかもしれません)
- ウ 「危険な遊びやルール違反」を見かけたら、ためらわずに声をかけましょう。

② 子どもたちを事故や犯罪から守りましょう。

ア 地域みんなの目で子どもたちを見守りましょう。

イ 子どもの目線で地域の安全を確かめ、安全に過ごせるようにしましょう。

ウ 子どもにとって“危険”なことを見つけたら、警察等、関係機関に連絡しましょう。

4 「一団体一実践活動」による実践

青少年育成県民会議では、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動を全ての地域に浸透させ、青少年健全育成の機運を醸成することを願い、市町村民会議をはじめとする関係機関や団体の皆様に、「一団体一実践活動」を提唱します。

「一団体一実践活動」は、関係機関や団体がテーマを定めて、「大人が変わる」ことや「子どもを見守る」ことをめざすものです。

(1) 「一団体一実践活動」の具体的事例

① 「朝のさわやかボランティア」

○ 始業前に、仕事場や付近の道路等の清掃美化活動に取り組む等。

② 「花いっぱい運動」

○ 地域の公園や道路で「花いっぱい運動」を展開する等。

③ 「さわやかあいさつ運動」 ※県民さわやかあいさつ運動推進要綱参照

○ “あいさつ”で職場環境を明るくする。

○ 来訪者に“心のこもったあいさつ”をする。

(2) 関係機関、団体、住民の皆様へのお願い

① 組織の特性を活かして、独自の「一団体一実践活動」の推進をお願いします。

② 市町村民会議は、各団体で実践された取組を別紙実施報告書にまとめ、令和9年1月末までに宮崎県青少年育成県民会議に提出します。 県民会議は、各市町村民会議から提出された実施報告書をまとめ、次年度の参考資料として市町村民会議に報告します。

③ 各組織の皆様が率先して“大人が変わる運動”を実践するよう心がけをお願いします。

④ 各種行事や研修会、会議等の機会を活用して、“大人が変われば子どもも変わる”県民運動の周知に努めてください。

この運動について、御意見やアイデアがありましたら、青少年育成県民会議事務局宛に御連絡ください。

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号（県庁福祉保健部 こども家庭課内）

TEL: 0985-44-2836

FAX: 0985-26-3416

E-mail: miyazaki-sik@ab.auone-net.jp

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動

～子どもは社会を映す鏡～

「子どもは社会を映す鏡」、そんな考えに立ち返り、私たち大人がしなければならぬことを行動に移しましょう。

まず、大人自身が自分の行動を見つめ直し、そして、子どもたちを温かく見守り、支えていくことが大切です。身近なところ、できることから始めましょう。

まず、大人自身が変わりましょう！

言動を省みる

- 大人同士、子どもたちへ
明るいあいさつをしましょう
- 相手の立場をふまえた
丁寧な言葉遣いを心がけましょう
- 家族や地域にとって
よいことを率先して実行しましょう

ルールを守る

- 公共施設のルールを守りましょう
- 交通ルールを守りましょう
- 公共交通機関のルールを
守りましょう

子どもの手本に！

地域の世話やきさんになりましょう！

温かい声かけ

- 声かけて、顔見知りになりましょう
- 善い行いを心から褒めましょう
- 危険な行為はためらわず声を
かけましょう

子どもの安全を守る

- 地域みんなの目で
子どもを守りましょう
- 地域内の安全を確認しましょう
- 関係機関と連携していきましょう

子どもの見守り！

大人の輪を広げ、地域の子どもをはぐくむ取組